

令和 4 年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和 5 年度第 1 回教育部会

令和 5 年 6 月 16 日

西成区HP
「運営方針」



経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-1-1 プレーパーク事業

3予算額

12,308千円

4予算額

11,529千円

目標	目標値	結果
プレーパークの一日あたりの来場者数	平均120人以上	平均117人

未達成

取組実績

子どもの生きる力を育む居場所として、子どもがやりたい、遊びたいと思うことを自由にできる冒険遊び場(プレーパーク)を実施。

令和4年4月～令和5年3月で88日開催、合計来場者数10,307人 1日平均来場者数 117人

【内訳】

もと津守小学校・幼稚園開催 計76日 合計来場者数計8,904人 1日平均来場者数約117人

出張開催(もと今宮小学校8日、南津守中央公園1日、西成公園1日、晴明丘中央公園1日、天下茶屋ふれあい広場1日)

計12日、合計来場者数計1,403人 1日平均来場者数約117人

課題と改善策

- ・目標達成のために、さらに来場者数を増やす取り組みが必要。
- ・区内巡回型開催日数と開催箇所を増やすことで区内全域での認知度を高め、さらなる参加者数の増加につなげる。
- ・新規来場者の獲得に向け、子どもの学習意欲・関心を積極的に刺激するイベントを開催する。

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-1-2 障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業

3予算額

7,342千円

4予算額

7,011千円

目標	目標値	結果
事業対象者に対して、状況の確認及びアウトリーチのうえ支援機関等へのつなぎ等ができた割合	3年で 100%	事業の対象者499世帯の内、必要な支援につながっている状況が把握できた世帯及びアウトリーチを行い支援機関等につなぎ等ができた世帯499件

達成

取組実績

精神疾患や知的障がいがある子どもまたは親を支援機関等につなぐことによって虐待防止をはかる。

対象者：手帳取得者（約5,000人）のうち18歳までの子どもを含む世帯 計499世帯

①家庭訪問及び相談支援：

支援機関等（障がい者福祉サービスや自立支援医療等）に繋がっているかの状況確認
またはアウトリーチにより支援機関等への繋ぎ等ができた世帯100%

②連続講座：令和4年度申込み実績7人

③保育所等送迎支援：令和4年度支援回数249回

④言語聴覚士による専門相談：令和4年度実績34人（相談回数50回）

⑤助産師による専門的家庭訪問支援：令和4年度実績15人

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-2-1 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

3 予算額	186 千円	4 予算額	186 千円
-------	--------	-------	--------

目標	目標値	結果
参加者へのアンケートで、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を測る項目について肯定的な意見	70%以上	学力があがったと答えた生徒 70% 勉強の仕方がわかってきたと答えた生徒 70%

達成

取組実績

区内中学生を対象に、中学校校舎等の公共施設を活用して塾等事業者による課外授業(補習)を実施した。

参加登録者数(令和4年度)

・鶴見橋中学校 23名 たちばな会館 23名 玉出老人憩いの家 26名 合計72名

課題と改善策

- ・事業の目標値は達成した。
- ・今後は、中学校の学習内容の基礎となる小学校までの学習内容定着に向けた取組みも必要である。
- ・習い事・塾代助成事業が小学校5・6年生に対象が拡大されることもあり、新たに小学生5・6年向けにも事業を実施する。

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-2-2 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

3予算額	7,744千円	4予算額	7,744千円
------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
授業初回と最終回にテストを実施し、点数が上昇する児童の割合	70%以上	テストを受験したうちの約74%が成績上昇

達成

取組実績

区内小学校全10校で、3・4年生は夏休み・冬休みや平日の放課後に計45時間、5・6年生は夏休みに計10時間実施。国語と算数を中心に課外学習を行った。

3・4年生は計255名が参加。5・6年生は計154名が参加。

課題と改善策

- ・事業の目標値は達成した。
- ・学力に課題のある児童など、対象者の参加をさらに増やすため、募集時期に体験会を実施するなど周知を強化。
- ・また、児童の学力に合わせた支援をするため、児童生徒の習熟度に合わせた教材や指導員の配置を行う。

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-2-3 西成区こども生活・まなびサポート事業

3予算額	65,593千円	4予算額	69,374千円
------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
学びの場への定着を目的とし、遅刻者数や不登校在籍率の改善	大阪市平均に近づける	遅刻者数は増加。不登校者数は市平均を上回った昨年度より微増

未達成
※

取組実績

※不登校在籍率の大阪市平均は集計中のため、現時点では未確定。
目標の達成状況は、遅刻者数・不登校者数の絶対数の増減で判断。

こども生活・まなびサポーターを区内全小中学校に1名ずつ配置。児童生徒や学校の実情に合わせて、登校支援などの寄り添い支援を行った。

＜支援実績(全16小中学校の年間延べ数)＞

- ・電話連絡・家庭訪問による登校支援:3,150件(うち、電話1075件、家庭訪問2075件)
- ・不登校遅刻の未然防止・登校後の支援:22,174件

課題と改善策

- ・全国的に不登校者数は増加傾向にあり、西成区も、遅刻者数、不登校者数ともに増加している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限の長期化により、児童生徒の心理的不安が増大したことが考えられる。アフターコロナにおける生活様式の変化を踏まえながら、家庭訪問などにより丁寧な支援をすすめていく。
- ・幼稚園・保育所と小学校のギャップなどから学習姿勢が身についていない低学年児童へのきめ細やかな支援といった予防的な取組を行う。

経営課題1 子育て環境の充実 自己評価のまとめ

◇**プレーパーク事業**は、指標にはわずかに届かなかったものの、1日あたりの来場者数は昨年度を上回っている。また、アンケート結果等からも来場者からの評価は高く、**今後は新たな利用者を増やす**とともに、より満足度を高めるような取組みを進めていく。

◇**障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業**については当初の目的を達成したので、今後はつながり先への**定着支援**を行っていく。

◇中学生を対象にした**西成まなび塾**、小学生を対象にした**西成ジャガピースクール**では、子ども達の学力向上や勉強時間の増加等、前年度から一定の水準を維持しつつ推移している。今後は、学力に課題のある児童などの対象者の参加をさらに増やすため、周知を強化していく。

◇**西成区こども生活・まなびサポート事業**についてはコロナウイルス感染症拡大の影響等により全国と同様に不登校者数が増加傾向にあり、目標を下回っている。今後はアフターコロナにおける生活様式の変化を踏まえつつ、丁寧な支援を進めるとともに、学習姿勢が身につけていない低学年児童へのきめ細やかな支援を行うといった予防的な取組みにも着手する。

引き続き、子ども自身が課題や困難を乗り越える「生きる力」を育む居場所づくりや、子ども達の学習習慣の定着と学力向上に取り組むことで、子育て環境の充実を図っていく。